

滋賀大学彦根地区生協友活



[新学期]

取り組み概要

日時：2023年4月2日(日)
 第1部 10:00~12:30 第2部 14:00~16:30
 場所：滋賀大学彦根キャンパス講堂
 参加者数：約400名

- 背景や概要：コロナの情勢を鑑み、今年度は友活（新入生歓迎イベント）の対面開催に踏み切った。新入生同士が仲良くなれるコンテンツが多数用意され、参加者がとても楽しめるイベントとなっていた。

対面の良さを存分に活かした新学学期活動

POINT.1

企画を盛り上げるために



当日のコンテンツは中レクリエーション（中レク）と外レクリエーション（外レク）の2つが行われました。

中レクでは、ジェスチャーゲームなど、たくさんのコンテンツを行うことで、新入生・先輩間の会話が生まれ楽しい雰囲気でした。特にコンテンツの中で参加者全員が班ごとに舞台にあがる場面があり、大学生らしい貴重な体験となっていました。

外レクでは謎解きキャンパスツアーを行いました。各地点に学生委員が立ち、建物の使い方を詳しく紹介していました。その場で謎を解け次第、次の建物に行くという流れでした。大学生協学生委員会の主催であることを活かし、生協の事業（食堂・自動車教習所・教科書販売など）を詳しく説明できていました。入学して授業が始まる前にキャンパスを回することで、新入生の生活に役立つ企画となりました。

POINT.2

入念な事前準備

今回はコロナ前の新学期を経験した学生委員がいなかったため、自分たちで一から作っていました。その中で今までの企画の反省や他大学への訪問で得たノウハウを活かしていました。新4年生の学生委員によると、「後輩がこれとまったく同じことをやったらいい、というようなフォーマットを作りたい」という想いがあったそうです。

また、SNSの運営による情宣にも力を入れていました。10日前からカウントダウンを行い、学生委員の宣伝、友活の詳細、準備の様子などとてもきれいにまとめられていました。友活終了後のTwitter投稿ではいいねが約60件つき、多くの新入生に届く情宣となりました。



POINT.3

他団体との連携



学生委員では運営するための人数が足りなかったため、部活やサークルに声掛けを行い、38団体の協力を得ることができました。部活・サークル側もパンフレットを配り勧誘することができて、双方にメリットがありました。友活の最後には先輩たちが花道を作って新入生を見送っていました。学生委員だけでなく大学全体で新入生を迎えることができました。

